

会議記録

決裁区分	市長	副市長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	係
甲 乙 丙 ①								
合議								
年月日	令和5年3月28日(火) 10:00 から 12:00				担当課	市民と共に考える課		
会議名	令和4年度第2回 市民協働のまちづくり推進委員会				場所	常総市役所 市民ホール		
<p>《出席者》土河委員，瀬高委員，寺田委員，古矢委員，岩見委員，木村委員，原田委員，中島委員（10時42分退席），中莖委員，杉田委員，秋葉委員 計11名</p> <p>《欠席者》神達委員，松下委員，中山委員，羽富委員 計4名</p> <p>《地域コミュニティ推進アドバイザー》 武蔵野大学 教授 渡辺裕一氏，淑徳大学 教授 渡邊多恵子氏</p> <p>《事務局》文蔵課長，下田尾課長補佐，横島地域組織支援係長，岡野主幹</p>								
<p>【内容】</p> <p>1. 開 会 (10時00分)</p> <p>2. 市長あいさつ</p> <p>3. 議 事</p> <p>○「地域運営組織設立・運営に向けて 地域への取組状況」について</p> <p>令和4年4月に策定した「常総市地域コミュニティ基本指針」に基づいて，令和4年度に行った取組状況と今後の予定について説明</p> <p>・講評</p> <p><u>渡邊 多恵子 氏</u></p> <p>まず，全地区で意見交換会が開催できることが素晴らしいと思う。人はつながりを求めるのが本質であり，本当につながるにはどうしていくかということを考えるのが，令和5年度の取組になる。私たちも一緒に考えていきたい。</p> <p><u>渡辺 裕一 氏</u></p> <p>意見交換会に多くの方が来てくださっているが，来られていない方の意見も多く聞いてまちづくりを行っていくことが大切である。このプロセスで，人とのつながりの中で自分ごとにし，解決に向けて考えていく地域の力が高まる。地域コミュニティ協議会設立は中間のゴールであり，それに向けて取り組んでいくことで，地域をより豊かにしていく。</p> <p>○ワークショップ</p> <p>次の①～③についてグループで話し合い，グループごとに意見・感想を述べていただいた。</p> <p>① これまでの取組についての意見・感想</p> <p>② 今後の取組・進め方についての意見・感想（より良くするには）</p> <p>③ 基本指針や地域活性化の推進を通しての意見・感想</p>								

1 班（岩見委員，木村委員，原田委員，中島委員，中莖委員，杉田委員）

2 班（土河委員，瀬高委員，寺田委員，古矢委員，秋葉委員）

・意見の内容

① これまでの取組についての意見・感想

1 班

- ・テーマを絞って，意見交換会を行った方がいいのではないか。

2 班

- ・若い方が集まりやすい時間や曜日に開催するなど，若い方が参加しやすいようにする工夫が必要。
- ・行政がいったことをそのまま地区でやっても合わないこともあるので，地区ごとに合う方法を模索する。
- ・具体的な取り組みをすると具体的な結果が出るので，まずは実行してみることが大切。
- ・女性や若い方の力が発揮できるような取り組みをした方がいいのではないか。

渡辺 裕一 氏

地域のことや人とのつながりに興味を持つ人が集まり，そのあとにテーマを作っていく。まずは土台をきちんと作ることを議論していきたい。

② 今後の取組・進め方についての意見・感想（より良くするには）

③ 基本指針や地域活性化の推進を通しての意見・感想

1 班

- ・より多くの方に関心を持ってもらうためにどうしたらいいかを考えたい。
- ・学校，企業等へ働きかけを行ったらどうか。
- ・地区ごとに参加率が分かれば，どれだけの方が関心を持っているかの一つの指標になるのではないか。
- ・今まで出た意見を年代別に分けたり，グループ分けが出来れば，今後も進めやすいのではないか。
- ・情報を広く届けるようにしてほしい。

2 班

- ・引越してきた方は，地域のことについて気づきやすいのではないか。
- ・地域の皆さんの思いや考えを出すことが今回の取組みであり，いろいろな立場の方の意見を聞くために参加率を上げることを考えていくことが，このまちづくり推進委員会ではないか。
- ・時代が変わり，共働きが増え，これまでと同じやり方では成り立たない部分があるので，どういう風に進めていくか考えていかなければならない。
- ・お祭りが地域でのコミュニケーションのきっかけになるのではないか。
- ・行政ではなく地域の方が地域の活性化に向けて考えることが重要である。

会議記録

渡邊 多恵子 氏

すぐには解決しないかもしれないが、このような話し合いを行うことでよい方向に進んでいくので、引き続きよろしくお願ひしたい。

渡辺 裕一 氏

会社や団体への働きかけ方は、チラシを送るだけでいいのかということそうではない。企業活動ができるのは、その地域のコミュニティの基盤があるからであり、会社の社会貢献は社会的責任（CSR）へと変化しつつある。社員が地域活動やまちづくりに参加することや、そのことを人事考課で高く評価することを会社や団体へ働きかけるのも一つの方法である。

4. その他

委員報酬について説明

任期満了、退任される委員から挨拶（岩見委員、木村委員、杉田委員、原田委員）

5. 閉 会（12時00分）

以 上